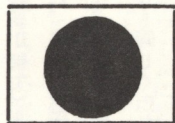


村の世帯・人口

1966年8月末現在

総世帯数 1,816 戸
男 4,840 人
女 4,945 人
計 9,785 人



1967年 元旦

はらに報広

発行所

西原村役所

電話 (0952) 401

印刷所

桑江印刷所

与那原小学校となり

電話 (0952) 365

主なもくじ

1 年頭の辞.....西原村長 新川崔吉 1

2 新村議員議席決まる.....西原村議事 2

一、議席番号紹介.....西原村議事 2

二、常任委員紹介.....西原村議事 2

3 六六〇六七年期甘蔗生産減収を予想.....西原村長 新川崔吉 2

一、今期搬入の甘蔗作の現況.....西原村長 新川崔吉 2

二、過去二ヶ年の生産実績を顧りみて.....西原村長 新川崔吉 3

三、今期搬入甘蔗と株出回数制限について.....西原村長 新川崔吉 4

4 恒例の村慰霊祭終る.....西原村長 新川崔吉 6

5 第八回定例議会おわる.....西原村長 新川崔吉 6

一、清掃条例の制定など.....西原村長 新川崔吉 6

6 西原、坂田両小学校紹介.....西原村長 新川崔吉 7

一、はじめに.....西原村長 新川崔吉 7

二、西原小学校々章と校歌.....西原村長 新川崔吉 7

三、正しい日本国民を育成するには.....西原村長 新川崔吉 7

四、創立と歩み.....西原村長 新川崔吉 8

五、教育方針と目標.....西原村長 新川崔吉 8

六、在籍並に学級職員編成表.....西原村長 新川崔吉 10

七、児童会の活動 児童生徒の作文.....西原村長 新川崔吉 11

八、坂田小学校々章と校歌.....西原村長 新川崔吉 12

九、真の人を育成するのが教育の本旨.....西原村長 新川崔吉 12

十、創立と歩み.....西原村長 新川崔吉 12

十一、教育方針と目標.....西原村長 新川崔吉 13

十二、在籍並に学級職員編成表.....西原村長 新川崔吉 14

十三、日本にかえりたい児童生徒の作文.....西原村長 新川崔吉 14



年頭の辞

西原村長 新川 崔吉

あけましておめでとうございます。輝しい一九六七年を迎えるにあたり
広報「にしはら」を通じて年頭の辞を申し上げることができましたことを
光栄と存じます。

旧年中は議会の方々をはじめ、村民皆さまの絶大なるご支援とご協力を
賜りましたことを心から厚く御礼申し上げます。目下キビ収獲の初期に入
り、農家の皆さまには大変お忙しい毎日です。ことに苦勞様でございます。

ここ二、三年来をふりかえって見ますに、砂糖の貿易自由化にともな
い、甘蔗作農家の糖価問題、村議の選挙、教育税廃止による村税一本化
の問題等、数多くの諸問題が改革されてまいりました、本年度は当局、
議会、農協、教育委員会の四者が一体となり、村振興発展のため、努力
いたしたい所存であります。

村長就任満一ヶ月、日浅きものですが、六七年度の施政方針で述
べましたとおり、先ず先立つものは財政の強化によって、農業生産基盤
の整備拡充し、村民所得の向上を図りたいと思います。同時に新庁舎の
建築促進、行政区画を整備するとともに、建設部門を強化し、村農道の
基盤を保全整備することによって、村民所得の向上も約束されるものと
信ずる次第であります。

本年こそ、末の恵みのように、よい年であることを村民皆様のご健康と
ご発展をお祈りいたしまして年頭の辞といたします。



謹賀新年

西原村役所

村長 新川 崔吉

助役 宮平 吉太郎

収入役 安谷屋 隆造

外職員一同

西原村議会

議長 与儀 栄

副議長 新川 郁夫

議員 外間 正栄

城間 光雄

新川 正雄

与那城 勲

新垣 良計

比嘉 昭幸

安谷屋 昌夫

小波津 正範

中山 正徳

呉屋 栄善

屋良 朝光

大城 勝治

宮里 景進

米須 清喜

外職員一同

西原村農業協同組合

組合長 城間 光雄

外職員一同

西原区教育委員会

委員長 大城 純勝

副委員長 大城 孝敏

委員 小橋川 潔

仲宗根精恵

翁長 盛助

外職員一同

◆ 常任委員会の選任など ◆

一九六六年第五回西原村臨時議会（初議会）は、十月五日午前十時（臨時議長新川郁夫）より開会の宣言がなされ、議長選挙にうつり指名推薦により、与儀栄氏が議長に選ばれ、副議長も同じく指名推薦の方法で新川郁夫氏が選ばれた。

議席の決定については議長がくじで定めることになっている、その他、会期の決定、常任委員の選任、臨時出納検査立会人の選挙など初議会は、行政自治の出発点として、多くの議事日程を終了した。

六六〇六七年期甘蔗生産減収を予想

一、今期搬入の甘蔗作の現況

出甘蔗でその偏重の傾向になることは、もちろんその肥管管理も適切を欠いている点が多いと指摘されています。

また毎年毎年減収の原因について
 一部の世論は、製糖期延長による
 株出育成期の短縮の結果であると結
 論をだしているが……

四、昨午七月上旬本村においても
 強力に、その推進すべき実施要領に
 よつて、おしすすめてきました。
 本村の甘蔗状況（第一表）からみ
 ると、夏植が二、三六三アールで、
 三、七パーセント、春植が七八二ア
 ールで〇、八四パーセント、株出が
 六一、一七三アールで、九五、四六
 パーセントをそれぞれ示しており、
 この割合からみると、ほとんどが株

それは……株出一辺倒による肥培管理の適正を欠いている点が多いとし、今後の増産を計るには株出・蔗園を適宜更新していかなければなりません。今後、政府の甘蔗増産推進運動に呼応し、強力的におしすすめたいと思います。今年の生産予想を第一表の部落別、植付期別を検討した結果、本年度も減収が予想されますが、製糖期になると農家にとって、

議席番号紹介	議席番号	審議																	
氏名	職	議長	副議長	議員															
榮夫	榮夫	榮夫	郁榮	光雄	正雄	計勲	幸夫	昌範	正德	榮善	朝光	勝治	景進	清喜	須喜	米宮	大城	屋良	興屋
中儀	新川	外間	城間	新川	与那城	新垣	比嘉	安谷屋	小波津	中山	興屋	屋良	大城	宮里	米須				

※ 常任委員会

総務委員会

委員	委員長
新垣良計	城間光雄

比嘉昭幸

委員 米須大清 喜

経済委員会

委員	委員長
外間正栄	新川正雄

小波津正範

与那城
勲

財政委員会

委員長	委員長
中山正徳	屋良朝光

新宮
川里
郁景
夫進

※臨時出納検査立会人

中山正徳、外間正栄

一番心配になるのが、人夫の問題である。六五・六六年期の例をとってみても親戚及び友人で搬出したりして、相当なコスト高を示し、甘蔗作農家は、コストの低減を図るため、労働問題、買上価格の安定、肥管理の徹底等、幾多の難問題が残されている。

第一表

1966年～67年期甘蔗生産予想

単位：アール kg

区 分 字別	夏 植		春 植		株 出		計	
	面 積	蔗 茎 量 kg	面 積	蔗 茎 量 kg	面 積	蔗 茎 量 kg	面 積	蔗 茎 量 kg
幸 地	338	354,900	47	25,850	8,167	6,941,950	8,552	7,322,700
棚 原	262	288,200	91	54,000	4,514	3,836,900	4,867	4,179,700
徳 佐	90	94,500	20	11,000	1,925	1,636,250	2,035	1,741,750
森 田	90	90,000	19	9,500	1,247	997,600	1,356	1,097,100
千 川	107	101,650	3	1,100	2,557	1,917,750	2,667	2,020,900
上 原	65	58,500	3	1,500	5,536	4,152,000	5,604	4,212,000
翁 長	260	299,000	8	4,800	4,290	4,290,000	4,558	4,593,800
呉 屋	82	94,300			1,973	1,973,000	2,055	2,067,300
津 花	171	196,650	15	9,000	1,558	1,558,000	1,744	1,763,650
小 橋	50	57,500	68	40,800	1,709	1,709,000	1,827	1,807,300
内 間	28	32,200	37	22,200	1,857	1,857,000	1,922	1,911,400
掛 保	18	18,900	3	1,800	451	405,900	472	426,600
嘉 手	28	29,400	17	10,200	826	743,400	871	783,000
小 那	46	48,300	34	18,700	3,653	3,287,700	3,733	3,354,700
崎 原	17	17,850	20	11,000	1,153	1,037,700	1,190	1,066,550
仲 伊	2	2,100	13	7,150	1,407	1,266,300	1,422	1,275,550
伊 保	110	115,500	72	39,600	1,445	1,300,500	1,627	1,455,600
兼 久	68	71,400	47	25,850	1,462	1,315,800	1,577	1,413,050
与 那	26	29,900	38	20,900	718	682,100	782	7329,00
我 謝	124	142,600	185	111,000	5,112	4,856,400	5,421	5,100,000
安 室	86	98,900	26	15,600	1,220	1,159,000	1,332	1,273,100
桃 原	147	169,050	3	1,800	800	760,000	950	930,850
池 田	33	31,350			2,378	1,902,400	2,411	1,933,750
小 波	115	132,250	13	7,800	5,215	5,215,000	5,343	5,355,050
計	2,363	2,574,900	782	452,550	61,173	14,801,650	64,318	57,828,700

二、過去二ヶ年の生産実績を顧りみて

本村の甘蔗作状況は、三年前より甘蔗作ブームに乗り、田作、甘蔗作などほとんどが甘蔗作に転換され、ことに村有地（千原、上原）地域内においても、機械化（フルトーザー）開発によって、新植面積は拡大されるに至っている。

これに伴って大家畜（牛、豚）飼育は減少する一方でこのため、推きゅう肥生産の減退と連続株出保有のため、地力の減退を来し、糖価の下落と生産費（労務賃）の上昇によって甘蔗作面積は拡大したものの、肥培管理の適切を欠いているため、生産農家自体でさえ、生産意欲

の向上が乏しくなっているものと推察されます。
さて、昨年とその前年度に搬入した総面積を比較した場合、その前年度より作付面積は、九、四九四アールも拡大されているが、収量の方からは、一四、一四〇、五五五キロの減収となっている。

これを第二表六四～六五～六六年期産糖実績比較表をご覧くださいますと、部落別、植付期別、蔗茎量など、部落と部落の比較も出来まし、今後の対策として、甘蔗生産合理化推進のため大いに役立てていただきたいものです。

64～65～66年産糖実績比較表

第二表

字 別	64～65年産糖実績					65～66年産糖実績				
	夏植	春植	株出	合計	蔗茎量 kg	夏植	春植	株出	合計	蔗茎量 kg
幸地	1,505 ^a		5,684 ^a	7,189 ^a	6,015,205	611 ^a	26 ^a	7,532 ^a	8,169 ^a	6,016,930
棚原	1,288		2,404	3,692	4,644,560	97	8	4,604	4,709	3,637,445
徳佐	565		1,025	1,590	2,033,235	47	16	1,975	2,038	1,582,945
森田	614		1,081	1,695	1,962,635	34	6	1,647	1,687	1,191,615
千川	591		1,243	1,834	2,493,295	72	6	1,978	2,056	1,928,120
上原	1,176		2,874	4,050	4,221,865	55	—	3,889	3,444	3,178,505
翁長	799		4,118	4,917	4,925,490	139	—	6,287	6,426	3,969,625
呉屋	399		997	1,396	1,818,295	148	5	1,617	1,770	1,632,310
津花	708		910	1,618	2,156,160	184	6	1,431	1,621	1,515,480
小橋	394		1,133	1,527	2,090,235	175	38	2,168	2,381	1,555,475
内間	403		1,115	1,558	1,558,665	47	5	1,698	1,750	1,234,940
掛保	161		273	434	671,200	90	—	310	400	438,930
嘉手	222		341	563	920,025	34	2	824	860	782,320
小那	841		2,091	2,932	4,967,615	907	76	4,376	5,359	3,532,455
崎原	231		682	913	1,312,960	50	10	1,237	1,297	963,150
仲伊	408		660	1,068	1,735,935	84	2	1,700	1,786	1,242,310
伊保	590		712	1,302	1,975,350	205	10	1,748	1,963	1,533,880
兼久	467		1,020	1,487	1,903,200	53	—	1,700	1,753	1,195,605
与那	215		409	624	739,355	15	41	840	896	608,015
我謝	995		3,475	4,470	6,564,760	244	70	4,384	4,698	5,022,800
安室	513		1,130	1,643	1,307,390	53	5	1,000	1,058	1,050,475
桃原	254		597	851	1,014,800	51	4	1,173	1,228	833,910
池田	691		1,360	2,051	1,875,645	283	—	1,519	1,802	1,553,040
小波	1,218		4,322	5,540	6,833,895	141	35	5,071	5,247	5,400,935
計	15,248		39,656	54,904	65,741,770	3,819	371	60,208	64,398	51,601,215

三、今期搬入甘蔗と株出回数 数の制限について

一九五五年以降わが沖縄に普及された、NOC三一〇号は、生體的特徴としては再発芽が旺盛であるため、現在の株出は四次の株出の場合でも、一〇トン近くの収量を上げている農家も多いようで、戦前戦後を通じて沖縄に普及された砂糖甘蔗のうちで、沖縄に適する一番よい品種というても、現在のところ過言ではないと思います。

そのため、長い年月沖縄の農家に親しまれ、愛されて農家の最大の換金作物として、多大なる所得をあげて農家の生活向上に果たしたその役割

は大きいですから……今後沖縄に新しい品種が出現しない限りこの品種は農家にとって手離しできないよい品種であります。その理由としては沖縄全島どこの土地でも栽培可能である。このことは各農家が実績証明していることであります。

では……ここで今期搬入予定面積から査定した場合、総原料搬入面積の九五パーセントが株出で、次に夏植で四パーセント、春植で一パーセントの割合を示している（第一図参照）

さらに……株出面積総数の九五パーセントの割合を年次別順に調べてみると、第三次が三〇パーセント、第四次が二七パーセント、第二次が

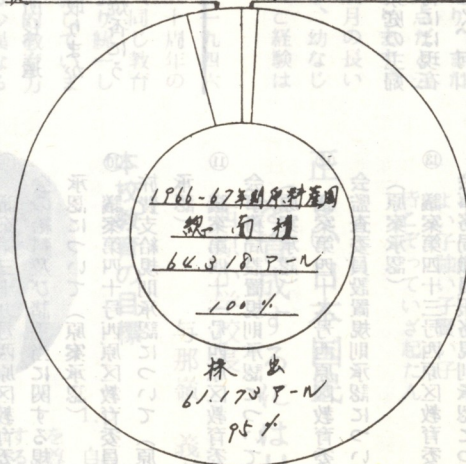
二一パーセント、第五次以上が十二パーセント、第一次が十パーセントの順となっている（第二図参照）
本村の土地は、他市町村の農家からみた場合、天下一品の土地だと評されていますが甘蔗作にあつては、どんなよい土地でも最終的には第三次株出までが適切だとされています。したがってこの図表よりご覧のように第四次第五次以上の株出の甘蔗作については農家の皆様も再考慮して、よき増産を計画され努力されることを望みます。

第三表 1966~67年期原料蔗園植付別株出年次別調べ 単位:アール

字 別	春植	夏植	株 出 面 積					合 計
			第1次	2 次	3 次	4 次	5次以上	
幸 地	47	338	1,377	1,734	2,964	1,122	970	8,552
棚 原	91	262	623	851	1,074	1,380	577	4,867
徳 佐	20	90	94	493	627	636	75	1,925
森 川	19	90	121	290	369	302	165	1,247
千 原	3	107	165	498	886	798	210	2,557
土 原	3	65	350	1,408	1,537	1,716	525	5,536
翁 長	8	260	309	829	1,335	1,242	575	4,290
興 屋	—	82	151	385	651	471	315	1,973
津 花	15	171	252	353	419	391	143	1,558
小 橋	68	50	143	378	484	508	195	1,709
内 間	37	28	138	438	631	575	75	1,857
掛 保	3	18	48	89	128	122	64	451
嘉 手	17	28	70	125	287	220	124	826
小 那	34	46	728	805	823	722	575	3,653
崎 原	20	17	42	263	449	275	124	1,153
仲 伊	13	2	50	362	473	403	119	1,407
伊 保	72	110	259	356	401	315	114	1,445
兼 久	47	68	24	304	476	465	193	1,462
与 那	38	26	65	207	220	189	36	718
我 謝	185	124	402	1,075	1,464	1,550	621	5,112
安 室	26	86	96	280	428	302	114	1,220
桃 原	3	147	52	192	238	213	105	800
池 田	—	33	292	589	782	580	135	2,378
小 波	13	115	146	546	1,560	1,962	1,001	5,215
計	782	2,363	6,007	12,850	18,706	16,459	7,150	61,173



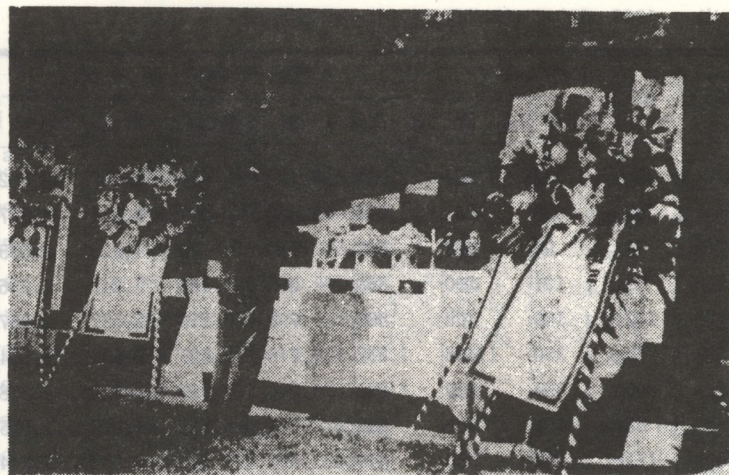
夏植 23,635 P-N 4% 春植 782 P-N 1%



第一図 一九六六~六七年期原料蔗園植付期別分布

第二図 一九六六~六七年期原料蔗園株出年次別分布

恒例の慰霊祭おわる



村長を参読する新川村長

本村恒例の慰霊祭は、去る十月二十五日午後二時から西原村慰霊塔前で行なわれた。

当日は村内関係遺族をはじめ、村外遠くは海をへだてて、伊江村（伊江島）からも参列した。

政府から厚生局長、日本政府那覇南連事務所長、沖縄遺族連合会長、村内各二十二の団体で五〇〇名余の

さして制定されたものである。

なお今度の議案はほとんどが村長提出の議案でつぎのとおり。

- ① 議案第三十一号専決処分について報告（承認）
- ② 議案第三十二号西原村職員の日及び休暇に関する条例の一部改正について（修正可決）
- ③ 議案第三十三号西原村職員給与に関する条例の一部改正について（原案決）
- ④ 議案第三十四号西原村収入役身元保証条例の廃止について（原案可決）
- ⑤ 議案第三十五号西原村議定例会設置条例の廃止について（原案可決）
- ⑥ 議案第三十六号西原村清掃条例制定について（原案可決）
- ⑦ 議案第三十七号一九六七年度西原村一般会計歳入歳出追加更正予算議決について（修正可決）
- ⑧ 議案第三十八号西原区教育局員会報酬及び費用弁償の額並びにその支給方法を定める規則承認について（原案承認）
- ⑨ 議案第三十九号西原区教育局員会の給料及び諸手当に関する規則承認について（原案承認）
- ⑩ 議案第四十号西原区教育局員会旅費支給規則承認について（原案承認）
- ⑪ 議案第四十一号西原区教育局員会事務局設置規則承認について（原案承認）
- ⑫ 議案第四十二号西原区教育局員会監査委員設置規則承認について（原案承認）
- ⑬ 議案第四十三号西原区教育局員会事務局職員服務規則承認について（原案承認）
- ⑭ 議案第四十四号一九六七年度西原区教育局員会歳入歳出追加更正予算議決について（原案可決）

参列のもとに、しめやかに、とり行われた。

祭式のことばにつづいて、諸英霊一、五〇〇余柱の冥福と将来の世界平和の祈りをこめて一分間の黙禱を捧げ、大典寺藤井深忍住職の説経のあと、新川村長の焼香及び弔辞が読み上げられ、厚生局長、日本政府那覇南連所長、遺族会長の焼香及び弔辞が読み上げられ、慰霊塔内には供花と香煙で取りまかれて、関係遺族の新たな涙をそそぐ場面もみられた、こうして一般焼香にうつり、三時三十分閉式した。

第八回定例議会おわる

△清掃条例の制定など

西原村議会第八回定例議会は、去る十二月二十六日と二十七日の二日間に亘って開会された。

最近文化生活の向上によって、食糧品についてはほとんどが紙包装類、ビン・ル類、ガラス類が多く、このため各家庭より放出される廃物が多

くその処理にあたって各家庭の主婦の悩みのようである。本村には現在まで指定された鹿捨場がなく、河川や空屋敷などに捨てられている現状である。

今後はこの制定された清掃条例によって汚物取扱業者を指定し、清潔で明るくて健康な文化生活の向上を目

西原・坂田

両小学校紹介

はじめに

広報「にしはら」は第三号十月一日の学校紹介で西原中学校の現況をとりあげて紹介しましたが中学校は私達子弟の義務教育最後の学校として、この機関紙広報を通じて父兄の方々の深いご理解とご協力を得て、学校当局に協力して私達子供達を立派な社会人となるよう、まっ先に西原中学校の学校経営の概況を紹介しました。

これについて広報「にしはら」第四号は輝しき一九六七年の新春を迎えて西原、坂田両小学校の学校経営の概況を紹介したいと思ひます。

小学校教育は、人生教育の出発点として、幼稚園の入園児から起算しますと満七ヶ年間、私達子供達のお世話をあずかる学校として、また、七ヶ年は短いようで長いものです。義務教育期間の年月を義務教育総期間を比例した場合、その七〇パーセン

トの歳月の期間を示しており、またこの期間は基本教育の出発点だと云われ、一番大事な時期であります、このことは小学校教育の歳月の長いことは私達大人にとっても、幼なじみの想い出のながく残る、ご経験は誰でもありましよう。

西原、坂田両小学校は戦後一九四六年六月十二日に創立し、二十周年の歩をみましたが、開校以来、同じ教育教科書によって、文教局より統一した科程によって教育を実施していますが、地域の学校には具体的教育方針、校風、教育環境など多少異なるところもあり、私達父兄は未来の社会をになう、子供達をよく、見守って、一番大事な義務教育の出発点をあずかっている西原、坂田両小学校の学校経営状況を紹介して父兄と村民の深いご理解と協力をお願いするとともに、今後村の教育発展に寄与していただきたいものであります。

▲西原小学校

◎校章について

校章紹介



西原小学校の校章は、一九五〇年小、中校併置校の頃できたもので桜に五本のペンを型どってある。桜は祖国日本の国花であり、いさぎよい性格を現わす。これは生活にけじめのはっきりした人間、りっぱな日本国民になるという意味であり、ペンは勤勉を現わす。つまり、りっぱな日本国民になるために勤勉に励む人間という意味が象徴されている。

◎西原小学校校歌

作詞 比嘉俊成
作曲 仲本朝教

一、朝日よう向く東の空打ち晴れて風かをる
太平洋の波濤が
旭かがやうゆたかなる
西原平野の真中に
立てるわれらが学校よ
よい子強い子賢い子
皆そろって励みなん
二、連玉森やナーク嶺
理想の嶺はそびえ立ち
古き歴史の白河の
名に負う清き村柄に
学びの道にいそしみて
高嶺極めん諸共に
よい子強い子賢い子
皆きそっていざ奮え

三、見よ遙かなる海のはこ
仰げばはてなき蒼空を
銀の翼を黒船も
文化を乗せて朝夕に
世界の国は隣組
手に手をとって睦びつつ
よい子強い子賢い子
皆こぞっていざ起たん

正しい日本国民
を育成するには!!

西原小学校長

与那嶺 義孝



本校教育の目標

1. 自分を尊重するとともに他人を尊重する子
2. 健康で明るい礼儀正しい子ども
3. 基礎的知識技能をもち実行力のある子ども
4. 勤労を愛好し、ねばり強い意志
5. 合理的に物を考え、自主的に学
6. 協力的で責任感の強い子ども

「学問を教える前に先ず人間づくり」
は一生の問題である。箒の七〇パーセントは家庭にあるといわれている。「親の無言の生活態度」や「親子の話し合い」によって子どもは養われ、親や教師の教えることをより多く受けとめてくれる子どもとなる。子どもはよい環境の中で正しく素直に「若竹」のように、すくすくと成長していく事は御存知のとおりである。こういったことが考えてみても、家庭、学校、地域社会が一体となり、水も漏らさぬ協力によって本校教育の目標も達成でき、正しい日本国民の育成出来るものと確信い

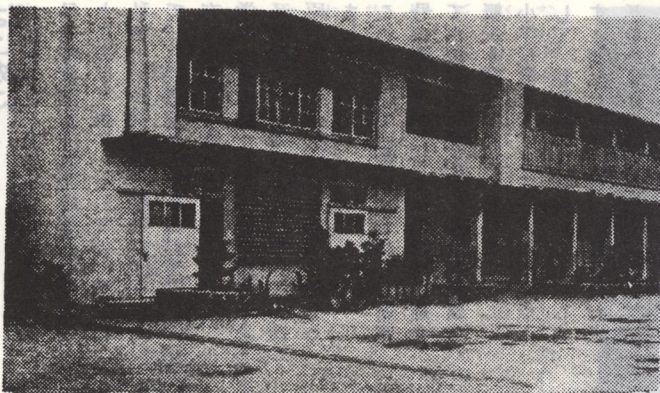
たしているであります。

本校も創立二十周年を迎えました
が、今日まで二十有余年にわたり関
係当局を初め、PTA、村民並びに
在外村出身各位の絶大なる物心両面
からの御援助、御協力により発展の
一途を辿ってまいりましたことを衷
心から感謝いたしている次第であり
ます。

私達ちも、職員、児童一体となり前
記教育目標達成のため邁進いたして
いますが、何と申しましても教育は
前述のように、家庭、学校、地域社
会が一体となり協力することによっ
て大きな教育効果をあげることが出
来ますので今までと変らぬ関係当局
を初め、PTA、在外村出身者各位
の御協力、御鞭撻を賜りますようお
願い申し上げます。

創立と歩み

西原小学校



本校は一九四六年六月十二日、西原
村宇与那城三三一番地を中心位置と
して、米軍部隊跡のコンセット屋根
を譲りうけ、西原東初等学校として
創立し、初代校長に玉那覇文雄氏が
就任し、職員十四名、児童生徒五五
一名の在籍を持ち、同年八月三十一

日西原東初等学校を西原初等学校に
校名を変更した。一九四七年十月三
日と、一九四九年六月二十日に例外
予想以上の台風のため、米軍より譲
りうけたコンセット教室も倒壊し、
村民の奉仕作業によって改修、また
カヤ葺屋根など改修した。

一九五二年四月一日西原中学校、西
原小学校と校名を改め、翌年六月一
日二代校長に新垣良康氏が就任し、
同年五月までは、木造瓦葺十教室
竣工したが同年まで併置校のため、
児童生徒数一、一六四名に達し、教
室不足をきたし、同年七月十七日、
初めてPTA設立総会において、初
代会長に外間仁栄氏が選ばれ、同年
十二月三十日PTA会員の協力に
よってカヤ葺教室九教室が竣工し
た。一九五六年より政府割当の永久
建築ブロック建教室も、六四年五月
までには二階建などつきつきと建築
され、教室、図書室、音楽室、給食
準備室、改良便所、送水施設などが
完備した。

昭和四十一年度教育方針

西原小学校

教育方針			学校経営の方針		
3. 保健体育の指導方針	2. 生活の指導方針	1. 学習の指導方針	2. 経営の方針	1. 経営の方針	1. 主たる目的
(7)(6)(5)(4)(3)(2)(1)	(3)(2)(1)	(4)(3)(2)(1)	(2)(1)	(3)(2)(1)	(1)(2)(3)
安全衛生の徹底を重視する。	清潔、整頓の習慣を身につせしめる。	基礎的学習態度の育成につとめる。	時間、労力、施設、備品の完全活用をはかる。	人権を尊重し、教育者としての人格と指導能力を信頼し、一校一心のしまりある家庭的な和やかな校風樹立につとめる。	一人一人の個性を伸ばし、教育者としての人格と指導能力を信頼し、一校一心のしまりある家庭的な和やかな校風樹立につとめる。
衛生思想の普及につとめる。	自己の体位を自覚せしめる。	家庭及び社会との連携を密にする。	事務の簡素化と、能率化をはかり責任を明らかにする。	教材、教具の整備と活用をはかる。	基礎的学習態度の育成につとめる。
衛生思想の普及につとめる。	自己の体位を自覚せしめる。	家庭及び社会との連携を密にする。		教材、教具の整備と活用をはかる。	基礎的学習態度の育成につとめる。
衛生思想の普及につとめる。	自己の体位を自覚せしめる。	家庭及び社会との連携を密にする。		教材、教具の整備と活用をはかる。	基礎的学習態度の育成につとめる。

また一九六三年三月十七日に校歌制
定式が挙行され、作詞は読谷高校長
比嘉俊成氏、作曲は文教局主事仲本
朝教氏によって、これを制定した。
同校は交通安全運動週間において優
良校として、与那原署より二回に亘
って表彰され、環境衛生方面におい
ても、六一年十二月行政主席より表
彰され、その他、体育、音楽にお
いても数多くの表彰をうけている。

一九六五年四月九日には林業協会主
催によって、中部地区第四回目、緑
の羽根募金の交付式と、その記念植
樹として椰子類五〇本、その他の樹
種が植樹された。
教育環境としては、沖縄一の広々と
した緑の村中心より東南の西原平野
真ん中に、西方に西原富士とうたわ
れる運玉森を見あげ、東に中城湾に
面し、緑の学園として現在、一、
一〇八名の児童と、三十二名の職員
は、明日の西原村をになう私達ち、
子供たちのために頑張っています。

- (1) 年間授業時数、授業時間四十五分確保
- (2) 家庭学習の励行
- (3) 家級経営の合理化と能率化
- (4) 教師の指導力の強化
- (5) 学教の総体的な学力の実態をつかみ、その対策に講ず
- (6) 視聴覚教具の整備と活用

- (1) 年間指導計画の改善
- (2) 各教科並に教科外活動に於ける道徳教育
- (3) 校外指導の強化
- (4) 家庭、部落PTA、教育隣組の協力

(2) 共通語、あいさつの励行
(3) 協力心の養成
(4) 根気強い子供

(6)	(5)	(4)	(3)	(2)
よい遊びの励行	蛔虫駆除、身体検査の結果処理	給食指導とおかずの奨励	学校環境の衛生的管理	健康管理と体育施設の拡充と活用

- (1) PTAの趣旨の滲透、会員意識の高揚
- (2) 教育隣組の強化
- (3) 会員の教育への理解、教養を高め環境の浄化

※在籍並びに学級職員編成表（一九六六年八月一日現在）

西原小学校

学年組		在籍		計	学級担任氏名	備考
男	女	男	女			
一年一組	二四	二〇	四四	新垣邦子		校長 与那嶺 義孝
二組	二三	二三	四五	浜川君代		教頭 泉川 寛得
三組	二三	二三	四五	城間 和子		補充教諭 嶺井 澄子
四組	二三	二一	四四	安谷屋 芳子		養護教諭 長嶺 梅
計	九三	八五	一七八			書記 与那嶺 照子
二年一組	二〇	二二	四二	島袋 マツ		世話人 繁沢 和子
二組	二二	二一	四三	安室 芳子		図書館司 幸地 末子
三組	二〇	二三	四三	中村 次枝		PTA会計
四組	二〇	二三	四三	我那覇 良子		
計	八二	八九	一七一			歴代校長一覧表
三年一組	二一	二〇	四一	米須 ヨシ子		初代 玉那覇 文雄
二組	二四	一九	四三	親泊 キヨ		二代 新垣 良康
三組	二三	一九	四二	玉那覇 光子		三代 東恩納 徳友
四組	二四	一九	四三	平良 梅子		四代 喜舎場 朝鵬
計	九二	七七	一六九			五代 与那嶺 義孝
四年一組	二五	二一	四六	呉屋 盛光		
二組	二七	一九	四六	宮城 豊子		
三組	二七	二〇	四七	大城 京子		
四組	二六	二〇	四六	知念 文子		
計	一〇五	八〇	一八五			
五年一組	二五	二四	四九	玉那覇 節子		
二組	二四	二三	四七	喜納 八重子		
三組	二五	二四	四九	喜屋武 清		
四組	二五	二三	四八	玉城 芳信		
計	九九	九四	一九三			
六年一組	二二	二六	四八	石原 佑哲		
二組	二一	二六	四七	仲松 弥太郎		
三組	二二	二六	四八	宮城 喜久子		
四組	二二	二五	四七	屋宜 美代子		
計	八七	一〇三	一九〇			
総計	五六五	五三六	一〇八一			
特殊学級	七	八	一五	小川 信		
学年組	男	女	計	学級担任氏名		

児童生徒の作文

児童会の活動

西原小学校六年五組

新川 貞雄

今年の児童会のめあては、五月にきめられ次のようになっています。

「身なりをきちんとしましょう」

「共通語をしましょう」

「ちりのない学校にしましょう」

「各奉仕部を活発にし自主的な人になりましょう」

まず、「身なり」について少し考えたいと思います。西原小学校生は、身なりがよくありません。ぼうし、名札、ハンカチ、クツ、ふくそうをきちんとしていくのがほんとうの子どもだと思えます。週審を通して注意したおかげで、今ではよくなっている。

共通語について……共通語をつかうのもあまり多くありません。下級生は、共通語をつかいますが、上級生が方言をつかうので、それをまねる下級生もいてこまります。それを早くなおしていきたいと思えます。ちりのない学校について……整美部が一生けんめいやっているのです。今では、せいけつな学校になりつつあります。自主的な人について……各奉仕部の中の学習部では、朝の自習をおもに見ています。

放送部では、給食時間に音楽やニュースをながし、朝のラジオ体操もよくしています。保健部は……給食の時、つめの長い人をしらべたり、トラコーマのちりよう、し体のせいせい面を見えています。体育部……運動競技のしんぱんをやったり、みんなが仲よくあそび合えるようにしています。ときどき交通整理もやっています。貯金部は……全校生徒に毎月第一水よう日に貯金をさせ西原農協にあづけています。そして学級別に勝負させます。報道部は……学校新聞や図画、作文をけ

いし板にはったりします。図書部では、……図書部ではみんなが本をよむように、図書をしようかいしたり、学級別に本を読んだ人をしらべて勝負させています。飼育部では……小さな動物、「小鳥はと、かめ、うなぎ、魚」を手わけしてせわしています。このくらいで「めあて」の活動がわかったと思います。私達の児童会では、そのほかに、坂田小学校、津刺小学校と交かん会をつくて学校生活をしようかいしたり、レクレエーション、作品交換、ソフトボールのしあいをしました。ソフト・ボールのしあいは、三学期に予定しています。それからPTA総会のとき、父兄にたくさんのおねがいします。

せんぱいをお願いした事がつぎつぎに出来あがりつつあります。その中には、ブロックへい、池、体育用具室、シーソー飼育小屋もあります。夏休みには、学級の代表者をあつめ、校内トレーニングセンターもつくり、楽しくやりました。

三学期になると、新しい役員を五年生からえらんで、卒業生を送る会もするものです。このようにたくさん

のことを、やるのでくろうです。でも……一生けんめいがんばってみたい。

……

数田小学校

……

……

……

……

……

……

……

▲坂田小学校

◎校章について



校章紹介

ハート形
にペンを
あらわし
たもの
で、ハー
トは心を

表し、ペ
ンは知を表す即ち、知・情・意の教
育の象徴(しるし)で情操豊かな知
性に富んだ知行一体のよい子の人間
像のシンボル(しるし)である。

◎坂田小学校校歌

作詞 屋宜 盛徳
作曲 仲本 実

一、青空たかく 雲はなし
大平洋を 見おろして
西原丘の 坂田森
ながめはきよし わが母校

二、つどう数百年の 健児等の
ふくらむ胸に 気は晴れて
まことの道を 学びいく
明日の世界 になるのだ

三、なごみの庭に 陽はあけて
若いみどりに 花かおる
坂田よい子の 意気たかし
こそ我等の 坂田校

真の人を育成す るのが教育の本旨

坂田小学校長

屋宜 盛徳



自分ばか
りがよけ
ればよ
い主義の
人間社会
をつくる
でなし

に、ひろく他人と協力し相互に理解
し合い、住みよい、明るい、郷土社
会をつくる真(マコト)の人を育成

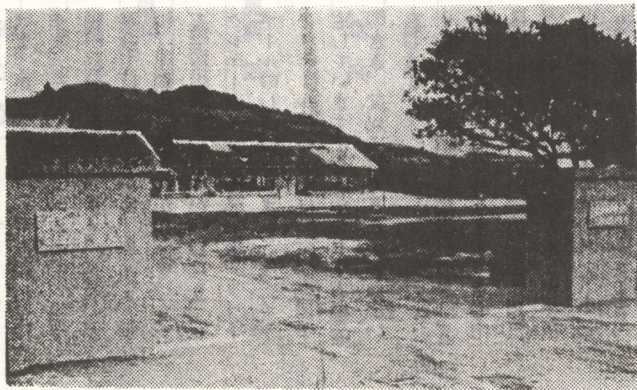
するのが教育の本行でなければなら
ない。

学校や、家庭において、教科のでき
や、ふでき、よい悪いにあまりにも
気を取られ過ぎて、最も大事な人間
としての生長を忘れてはならないで
あろうし、寧ろ個人としての、伸長も
認めてもらう寛容さがなければなら
ないと思う。小学校児童、幼児教育
では、躰の教育が最も大切であり、
躰なくして、教育は絶対にあり得な
いと信ずる。

豊かな愛情と、たくましい知性でよ
い習慣づけをすることが肝要である
。而もそれは絶えず家庭と学校が不
離一体となり、共同の目標に進まな
ければならない。要は知るだけの人
物をつくるでなく、知って成すこと
の出来る所謂、心身健康、知行一体
の人物を育成することである。

創立と歩み

坂田小学校



本校は一九四六年六月十二日西原村
字翁長六五八番地(坂田升原)を中
心に位置し、西原西初等学校として
開校し、同年八月十七日校地を坂田
升(現敷地)に決定し、初代校長に
外間昭宏氏が就任し、同地域村民と

父兄の協力でキャブキ校舎三棟が建
てられ、同年九月二日を創立記念日
とし、坂田初等学校として校名を変
更し翌年三月第一回卒業生七五名を
送りだした。四八年三月三十一日二
代校長渡宗公氏が就任し。四月一日
より六・三・三制実施によって坂田
中学校、坂田初等学校として、併置
校として発足した。

五〇年一月七日恒久建築木造瓦葺校
舎三棟で六教室完成し、五七年四月
一日三代校長東恩納徳友氏が就任、
翌年五月一日四代校長新垣良康氏が
就任し、六一年七月までに校舎建築
も十二教室完成し教室運営コンク
ールに文教局長より表彰された、また
教育後援会より優秀校として表彰さ
れた、六二年四月一日五代校長屋宜
盛徳氏が就任し、児童文集「青空」
第一号が発行され、八月よりQM部
隊の応援により運動場の地均し作業
を実施し、校地内美化作業をなし、
六三年十一月第一回学校花まつり開
催、全疏小学校でヒケをとらない、
お花の学校、みどりの学校として、
全疏に名声をあげた。こうして翌年
六月二五日第六回全疏緑化大会コン
クールに緑化本部長(行政主幹)よ
り表彰された。

同じく六月三十日には、政府計画に
よる、電力給水タンクの設置が完
成、現在までには給食準備室、養魚
池、小鳥舎新設、便所、教材庭園の
整備など完成された。

九月二日は創立二十周年にあたり、
校旗の樹立、校歌制定、記念事業と
して、表門前方の塀構築など数多く
の教育施設の完備がなされている。
また同校は今年三月二十四日まで一
、四四六名の卒業生を送りだして
いる。

よい子の学校、お花の学校、みどりの
学校として、村中心地の北西の高
台に位置し、東に中城湾、真正面に
西原大平野を見おろし、教育環境
としては、全疏小中学校の中でも、
右に出る学校はないほど緑の中、お
花の中につつまれて、奥ゆかしき学
校である。

昭和四十一年度の教育方針

坂田小学校

1. 本校の教育目標	2. 本校経営の基本方針	3. 継続目標	4. 本年度の主な努力目標
一、国家社会人類に貢献する有為の人物の養成である。 平和と真理を求める民主的社會人の育成 一、知り得たでなく何を知り何をなし得るかの人物の育成である。 心身健康知行一体の実践者の育成	(一) 楽しい明るい学園づくりをする 雰囲気、親和、協力 (二) 社会に役立つ人づくりをする 勤労、責任、自主 (三) 豊かな愛情で厳しい眼をする 人間関係を深める (四) 自信をもって事に当る 個人の尊厳、自己研修 郷土社会の人々と共に 環境づくり、保護者家庭との連携	○ よい子の学校 ○ おはなの学校 ○ みどりの学校 ○ 学習指導の充実改善 ○ 児童会、学級会活動の強化 ○ 図書館活動の強化 ○ 正しい言葉と正しい服装 ○ 幼児教育の重視（幼稚園） ○ 保護者家庭との連携強化 ○ 校内研修の効果的運営 ○ 道徳教育の強化（全体計画の樹立） ○ 学校保健学校給食指導の強化 ○ 物を大切にする ○ 保健施設、教具の整備	試作栽培行程 その他関係事項について 試作栽培に成功（西原村農協） 三、東恩師 四、東恩師 五、東恩師 六、東恩師 七、東恩師 八、東恩師 九、東恩師 十、東恩師 十一、東恩師 十二、東恩師 十三、東恩師 十四、東恩師 十五、東恩師 十六、東恩師 十七、東恩師 十八、東恩師 十九、東恩師 二十、東恩師 二十一、東恩師 二十二、東恩師 二十三、東恩師 二十四、東恩師 二十五、東恩師 二十六、東恩師 二十七、東恩師 二十八、東恩師 二十九、東恩師 三十、東恩師 三十一、東恩師 三十二、東恩師 三十三、東恩師 三十四、東恩師 三十五、東恩師 三十六、東恩師 三十七、東恩師 三十八、東恩師 三十九、東恩師 四十、東恩師 四十一、東恩師 四十二、東恩師 四十三、東恩師 四十四、東恩師 四十五、東恩師 四十六、東恩師 四十七、東恩師 四十八、東恩師 四十九、東恩師 五十、東恩師 五十一、東恩師 五十二、東恩師 五十三、東恩師 五十四、東恩師 五十五、東恩師 五十六、東恩師 五十七、東恩師 五十八、東恩師 五十九、東恩師 六十、東恩師 六十一、東恩師 六十二、東恩師 六十三、東恩師 六十四、東恩師 六十五、東恩師 六十六、東恩師 六十七、東恩師 六十八、東恩師 六十九、東恩師 七十、東恩師 七十一、東恩師 七十二、東恩師 七十三、東恩師 七十四、東恩師 七十五、東恩師 七十六、東恩師 七十七、東恩師 七十八、東恩師 七十九、東恩師 八十、東恩師 八十一、東恩師 八十二、東恩師 八十三、東恩師 八十四、東恩師 八十五、東恩師 八十六、東恩師 八十七、東恩師 八十八、東恩師 八十九、東恩師 九十、東恩師 九十一、東恩師 九十二、東恩師 九十三、東恩師 九十四、東恩師 九十五、東恩師 九十六、東恩師 九十七、東恩師 九十八、東恩師 九十九、東恩師 一百、東恩師

坂田小学校

在籍並に学級職員編成表（一九六六年八月一日現在）

坂田小学校

学年組	在籍		学級担任氏名
	男	女	
一年一組	二一	二二	新城敏子
二組	二〇	二二	長川美枝
計	四一	四四	八五
二年一組	二六	二二	大城春子
二組	二五	二二	与那城操子
計	五二	四二	九四
三年一組	二二	一八	藤村トシ
二組	二二	一八	大城芳子
計	四四	三六	八〇
四年一組	二三	二四	大城トミ子
二組	二四	二二	仲里助一
計	四七	四七	九四
五年一組	二六	二三	与那嶺義徳
二組	二五	二四	宮城芳江
計	五一	四七	九九
六年一組	一五	一六	玉城真達
二組	一六	一五	中曽根昌一
三組	一五	一六	当山ヨシ
計	四六	四七	九三
合計	二八〇	二六三	五四三

歴代校長一覽表

初代 外 間 昭 宏
 二代 渡 宗 公
 三代 東 恩 納 徳 友
 四代 新 垣 良 康
 五代 屋 宜 盛 徳

児童生徒の作文から

日本にかえりたい

坂田小学校五年二組

与那嶺りつ子

ます。あの悪いことをしたアメリカ人はどうなったでしょうか。そのような苦しみから、わたしだち沖繩の人は何とかして、ぬけ出さなくてはなりません。

わたしたちの日本が、戦争に負けてからもう二十一年になります。沖繩にはたくさんアメリカ人が住みついて、まるで外国のような気持ちになる観光客も多いと聞いています。そのアメリカ人のために、わたしたちは、これまで、いろいろな苦しみを味わってきています。

青信号中におうだんをしていた中学生がひきこころされたり学校からの帰りに空から落ちてきたトレーラーにおしつぶされて死んで友だちもおり

四月二十八日をわたしたちは、祖国復帰デーとして、一日も早く日本へかえろうとえらい人たちを中心に努力しています。アメリカ人にも、わたしたちの気持ちをよく知って早く日本にかえそうと考えている人がきつというと思います。

わたしたちのおとうさんや、お母さんは、休むひまもなく仕事にはげんでいらつしやるのは、くらはなかなか楽にはなりません。日本にかえれば、もっとひろびろとした気持ちで

仕事も自由にえらべるし、しゅうにゆうもふえて明るい生活が出来ると思います。

わが国、日本へかえりたい。一日も早く、日本へかえりたい。このねがいは、沖繩のみんなの心からのいのりであると、わたしは思います。

の教育施設の完備がなされている。また同校は今年三月二十四日まで一、四四六名の卒業生を送りだしている。

よい子の学校、お花の学校、みどりの学校として、村中心地の北西の高台に位置し、東に中城湾、真正面に西原大平野を見おろし、教育環境としては、全盛小中学校の中でも右に出る学校はないと認められ、お花の中につつまれて、奥ゆかしい学校である坂田小学校。